

会議の名称	第7回茅野市行財政審議会		
開催日時	令和4年3月9日（水） 18時00分～19時00分		
開催場所	8階大ホール		
出席者	※出席委員等：守屋副会長、小平委員、宮坂委員、半田委員、鈴木委員、藤野委員、唐澤委員、中村委員、鶴石委員、大川委員、両角（博）委員、丸茂委員 ※市側出席者：小平企画部長、伊藤総務部長、土橋総務課長、平澤財政課長、有賀P推進課長、野明人材育成担当、小田島財政係長、武居コミュニティ推進係長、田中企画課長、伊藤企画係長、矢島行革・デジタル係長、藤澤主査、宮阪主査		
欠席者	両角会長、高木委員、柿澤委員		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
事務局	議事 1 開会 2 副会長挨拶 3 会議内容 (1) 前回会議の確認事項について * 説明 (2) 答申内容の確定について 資料1 * 一部修正し確定 (3) 令和4年度行財政審議会の進め方について 資料2 * 説明及び意見交換 4 その他 (1) 答申書提出について * 3/16（水）16：30～17：30 予定 (2) デジタル田園健康特区（仮称）内定について * 説明 5 閉会 議事録 1 開会 会長欠席により本日は副会長に進行をお願いする。		
副会長	2 副会長挨拶 11月から6回に亘り審議をいただいた。本日は最終のまとめを検討いただく。事前の意見を反映して本日の資料を用意した。		
事務局	3 会議内容 (1) 前回会議の確認事項について 前回大規模事業所が茅野市に来た場合の波及効果について質問があり、回答する。一般論となるが、市への直接の効果として、固定資産税・法人		

事務局 副会長 委員	市民税・上下水道が見込まれる。また、雇用によって市外から転入者が来れば社会増につながり、社員の市県民税や日常の経済効果、地区の活性化などが期待できる。
	(2) 答申内容の確定について 資料1
	・・・資料1に基づき説明・・・
	事前の意見を反映させて資料を用意した。確定に向けて意見はあるか。答申の内容は良い。
	答申の内容ではないが、現在の財政危機の中、市長等は給料の一部を返上している。また今後、行政サービスの低下等、市民生活への影響も想定される。その中、議員定数は従前と変わらない状況。茅野市には10の地区があり、人口の多い地区は複数人選出したとしても、全体で4～5名減らしてよいのではないか。市や審議会から提起することはできないが、議会から自主的に声上がることを期待したい。
	また、答申を構成する柱として、当初「施設縮減」があったが、審議の結果「公共施設の再編」へ修正された。公共施設の縮減は既に何年も検討されており、施設を減らさないと市の財政が持たないことは明らかである。しかし、実際に施設の廃止等には、相当の反発も予測される。市からの諮問された意図は、市民を代表する当審議会に、どの施設を優先的に検討するのか、また市民にどういう説明をして理解を得るのか、であると推測する。今回審議結果を基に答申するが、今後再度議論を行う必要があるかもしれないという認識が必要。
委員 副会長	委員の意見は、答申書後半の委員意見に追記してはどうか。
	公共施設の検討については、来年度具体的な項目を検討していくため、詳細はそこで検討したい。いただいた意見は追記する。
委員	住民自治の改革項目中「公民館活動等の目的、機能等」の字句が「区・自治会の公民館主催事業等」へ修正され、限定的な表現に変わっている。意図を確認したい。
事務局	事前に正副会長と協議する中で、「建物としての公民館で実施される活動」と捉えられる可能性があるとの指摘があり修正した。
委員	そのように建物としての公民館と捉えることは少ないのではないか。区・自治会の公民館活動は主体が各区・自治会であり、全体の見直しを検討する意図で「公民館活動等」でよい。
委員	区・自治会は、市行政とは切り離れた形で独自に活動しており、規模の大小もまちまちである。この改革項目を進めるには、区長会や公民館連絡会等を通して働きかけて実現するというでよいか。
事務局	そういった形を想定している。
委員	委員指摘のニュアンスを残すために注釈を加えてはどうか。
委員	私見であるが、分館を含めた公民館活動は必要なのか疑問である。例えば年に1回公民館だよりを作成して終わりの様な活動もある。消防団の見直しもそうであるが、今の時代に合っていない活動がある。そういった役割の目的や機能を総点検し、早期に結論を出すべきである。
委員	自分は市外出身だが、茅野市の公民館活動は特に活発に感じる。公民館を主体とする活動であれば、その趣旨からして前回の表記が良い。
委員	表記は「公民館活動等」でよいが、区によって活動や施設の大小がある。市で見直しを働きかける際には、それぞれの区の特性に合わせた進め方をしていかないといけない。

副会長 委員	<p>それでは、該当箇所は前回の表記へ戻したい。その他意見はあるか。</p> <p>答申書の1ページに、「若者に選ばれるまち」に触れている箇所があり、審議会の議論の経過に含まれている。市は「若者に選ばれるまち」を標榜しており、この文章は答申の要旨に入れるべきではないか。</p>
委員 副会長 委員	<p>表現を修正し、要旨に入れたほうが良い。</p> <p>該当箇所は、表現を修正し答申の要旨へ移動する。他に意見はあるか。</p> <p>政策運営の改革項目に「若者に選ばれるための市民サービスを広く市民から募集」とあるが、市民サービスが充実する、市がやってくれるという感覚を与える。若者に選ばれるまちの実現のために、我慢する部分も含めて、政策へ反映するという趣旨の表現に変更できないか。</p>
委員	<p>市民サービスの募集ではなく、「若者に選ばれるための提案」といった表記がよい。</p>
副会長	<p>該当箇所は、「若者に選ばれるための提案を広く市民から募集し、政策へ反映」へ修正したい。今回の修正をもって答申を確定とする。</p>
事務局 副会長	<p>(3) 令和4年度行財政審議会の進め方について 資料2</p> <p>・・・資料2に基づき説明・・・</p> <p>事務局と協議して、本日の提案を出しているが、今回確定ではなく、委員の意見を聞いて進めたい。正副会長の方では、来年度も委員全員で審議していきたいと考えている。また、審議していく項目も令和5年度予算を見据えながら決めていきたいと考えている。意見はあるか。</p>
委員	<p>事務局の説明の内、庁内で対応できる項目は庁内で進めるとあったが、これまで庁内で検討していたから改革が進まなかったのではないか。庁内で対応していく事には懸念がある。</p>
委員	<p>新年度予算を見据えていくと、時期的に急ぐ必要があることと、予算や人手をかけずにできる改革項目に知恵を絞る必要がある。</p> <p>来年度の審議とは別となるが、報道でデジタル田園健康特区の話題があった。国の補助が想定されるが、DXを進めるのにも相当の経費が見込まれる。今回の改革項目にもDXの文字が多いが、住民サービスの向上だけに光が当てられて、効率化による職員数の減少等、財政的な効果が発揮できる内容であってほしい。</p>
副会長	<p>また、住民自治について審議会で様々な意見が出た。自分の地域でもアパートを含めると入区率は50%以下であり、高齢世帯の増加で退区が加速している。今回の改革項目は5年後を想定しているが、10年後20年後を見ると区・自治会そのものが成立しなくなっていく。国内では多くの市町村で過疎法の対象となっており、そういった自治体における区の在り方がどうなっているのかも調べてもらいたい。</p> <p>今回の答申内容は5年後を想定している。今後検討する中で中長期的な検討が必要であれば触れていきたい。</p>
委員	<p>審議会の進め方について、来年度会議回数がどの程度持てるのか、また各論になるとそれぞれの委員の意見も増えてくるので、全員で議論する時間的な余裕が取れるか懸念があり、進め方に工夫が必要ではないか。</p>
副会長	<p>来年度の進め方はまた検討したい。今年度も、メールでの意見出し等活用して進めてきた。こういった方法も可能だと感じている。</p>
委員	<p>各論に入れば議論が白熱し、消化不良が予測される。優先順位を付けて新年度予算に向けて一つの成果を出していくことが必要である。当審議会も市民の代表であるが、一番の代表は市長である。答申を受けて市長が思う優</p>

副会長	<p>先事項を確認し、それを進めていく形ではどうか。来年度の当初にその声を直接聞く機会があるとよい。</p> <p>今の提案含めて事務局と調整する。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>(1) 答申書提出について</p> <p>3月16日(水)16:30~17:30を予定している。会場準備もあり参加される方は事務局まで連絡してほしい。</p>
事務局	<p>(2) デジタル田園健康特区(仮称)内定について</p> <p>スパーシティへの応募をしていたが、自治体の規模や提案の趣旨などから、デジタル田園健康特区(仮称)という形で指定される候補となった。</p> <p>来年度以降推進していくこととなる。</p>
副会長 委員 事務局	<p>具体的な内容が出てきたら、当審議会でも説明してほしい。</p> <p>報道では詳細が出ていないが、広く周知してほしい。</p> <p>現在内示の段階であり、今後正式決定されれば市からの情報発信もしっかりとしていきたい。</p>
事務局	<p>(3) その他</p> <p>本日答申を確定いただいた。昨年11月から7回に亘り審議いただき、感謝申し上げます。市としても審議会の答申を尊重し、具体的な方針を策定していきたい。今後ともご協力をお願いしたい。</p>
副会長	<p>5 閉会</p> <p>発足から半年近く、活発な審議いただいた。感謝申し上げます。また来年度具体的な内容を検討していくこととなるが、ご協力をお願いしたい。以上で、第7回茅野市行財政審議会を閉会とする。</p>

以上